

【 様式 1 - 1 】

新十津川町  
トンネル長寿命化修繕計画

平成 29 年 12 月

( 令和 4 年 9 月 改訂 )

新十津川町 建設課土木グループ

## 1. 長寿命化修繕計画策定の目的

### 1) 背景

新十津川町が管理する道路トンネルは、平成30年1月現在1本であり、建設後の経過年数は14年となっている。

気象条件の厳しい北海道においては、凍結融解作用などの影響により劣化進行が早い傾向にあるため、定期点検による確実な状態把握、点検結果に基づく早期修繕が必要となる。

今後は、トンネルの修繕に要する費用増大が見込まれるため、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

### 2) 目的

今後は、計画的かつ予防的な維持管理に転換し、トンネルの総合的な維持管理コストの縮減、剥落等による第三者被害や長期交通規制工事等の発生を回避、抑制し、トンネルの長寿命化を図ることを目的とする。

## 2. 長寿命化修繕計画の対象トンネル

本計画において対象とするトンネルは、新十津川町が管理する徳富トンネルとする。

トンネルの概要（H30.1現在）	
トンネル名	徳富トンネル
路線名	町道幌加清水沢線
箇所	新十津川町字トップ
竣工年月	2003年10月
経過年数	14年
延長	138.0m
施工方法	NATM工法

## 3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

### 1) 健全度の把握の基本的な方針

徳富トンネルを対象とした定期点検を『道路トンネル定期点検要領（国土交通省道路局）』に基づいて行い、損傷状況を把握するとともに、道路機能を阻害する損傷、第三者被害を及ぼす可能性のある損傷を早期に把握する。

### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

トンネルを良好な状態に保つため、日常的な維持管理としてパトロールを実施する。

#### 4. 対象トンネルの長寿命化及び修繕・更新に係る費用の縮減に関する基本的な方針

##### 1) 基本的な方針

- ・トンネルのおかれた環境条件等から損傷に対する事前予測や劣化予測を行い、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕に係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、トータルコストの縮減を図る。
- ・損傷が発生してから対応する事後保全型の管理ではなく、劣化の進行を予測して適切な修繕を行う予防保全型の管理を実施する。
- ・計画的、効率的管理の推進による更新時期の平準化とコスト最小化を図る。
- ・長寿命化修繕計画をホームページ等で公表する。
- ・定期点検結果に基づくトンネルの健全度及び損傷状況に応じ、適宜長寿命化計画の見直し（フォローアップ）を行う。

##### 2) 対象トンネルの状態

対象トンネルの点検・診断結果は、別紙対象施設一覧による。

#### 5. 対象トンネルの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は更新時期

【 様式 1 - 2 】による。

#### 6. 長寿命化修繕計画による効果

トンネルの要対策箇所について、損傷状況、進行度合い、第三者への影響度等を考慮し、優先順位を判断する。この計画に基づき、予算の平準化にも配慮しながら各年度の対策費用を決定することで、トータルコストの縮減が見込める。

## 7. 今後の取組み

維持管理の更なる高度化、効率化を目指して、以下の取組みを行う。

### 1) 新技術の活用、費用縮減

次回定期点検（令和8年度）時に、管理するトンネル1施設について、点検等に係る新技術等の活用の検討を行い、約0.5百万円の費用縮減を目指す。

修繕工事においても、設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、約1百万円のコスト縮減を目指す。

### 2) 集約化・撤去

徳富トンネルについては、迂回路が存在しないため集約化・撤去は困難である。

## 8. 計画策定担当部署

北海道 新十津川町 建設課 土木グループ

TEL : 0125-76-2139